

博物館協議会資料
令和6年11月8日

史跡蜷塚遺跡の再整備事業に伴う調査研究事業について

博物館

1 概要

史跡蜷塚遺跡の再整備事業（前期 令和5年度～令和8年度）が進行中である（浜松市2021『浜松市文化財保存活用地域計画』、浜松市2022『史跡蜷塚保存活用計画』、浜松市2023『蜷塚遺跡整備基本計画』）。計画に従い、調査研究事業についても、発掘調査や調査研究体制を整備して過去（1960年代等）の発掘品の再評価を進めている。

2 前期整備事業の概要

令和5年度～令和8年度の4か年計画
史跡蜷塚遺跡整備検討会による意見聴取

【委員】

水ノ江和同（考古学、文化財保護）同志社大学文学部文化史学科教授
脇谷草一郎（文化財科学、博物館学）奈良文化財研究所埋蔵文化財センター保存修復科学研究室長
池邊このみ（造園学）千葉大学大学院グランドフェロー
小山真人（自然環境）静岡大学未来社会デザイン機構副機構長・教授
村野正景（博物館学、考古学、パブリックアークロジ）静岡大学情報学部准教授

3 発掘調査

第8次調査 2024年8月 第1貝塚並びに南側谷部（推定水場）
貝塚の範囲が広がることを確認 南側谷部に粗製土器包含層を確認→水場の更なる探求が必要

4 詳細測量調査と既存資料との整合

詳細等高線図の作成、貝塚、建物跡、土坑墓の位置関係合成

5 動物遺存体調査

専門家による動物遺存体悉皆調査 次回11/20～22を予定
動物種同定、現生標本の収集、新たな展示のための資料調査

6 編組調査

土器圧痕の編組 レプリカ法による分析 編組技法の抽出
11/9日に速報展示、解説予定

7 水辺環境調査

佐鳴湖及び浜名湖、遠州灘との関係 動物遺存体
丸木舟プロジェクト（民間団体の活用イベント）への協力 11/9 映画会、講演
南側谷部の環境 いわゆる水場の想定

8 その他

土器、骨角器の研究現状調査、総合的な検討
課題 調査研究体制の構築、研究事業の計画化